

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

《無斷轉載禁止

レジメン番号： CRC-125

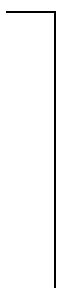
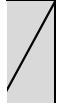
対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
大腸がん	adjuvant CapeOX (XELOX)	21日間	8コース	<input type="checkbox"/> 進行/再発 <input checked="" type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	中	J Clin Oncol 25: 102-9, 2007 J Clin Oncol 29: 1465-71, 2011 N Engl J Med 378: 1177-88, 2018

〈注意事項/備考〉

- ✓ Cape投与量：BSA<1.36m² : 2400mg/day、1.36≤BSA<1.66m² : 3000mg/day、1.66≤BSA<1.96m² : 3600mg/day、BSA≥1.96m² : 4200mg/day
 - ✓ Capeの内服タイミング：Day1の夕食後からDay15の朝食後まで（ただし、Day2の朝からの内服でも可）
 - ✓ Cape：他のフッ化ビリミジン系薬剤と併用禁忌（前後7日間以上の間隔を空ける）
 - ✓ HFS (Cape) : 保湿剤で予防を。痛み、腫脹、水膨れなどの症状に注意
 - ✓ 腎障害 (Cape) : 重篤な腎障害 (CCr<30mL/min) では投与禁忌。CCr 30-50mL/minでは減量を（75%用量など）
 - ✓ 過敏症 (L-OHP) : 7-8コース前後で頻度上昇、症状は呼吸苦、かゆみ、発赤など
 - ✓ 末梢神経障害 (L-OHP) : 急性（寒冷刺激で誘発）と慢性（知覚異常を伴う機能障害、総投与量850mg/m²より頻度上昇）

✓ 通常は6か月間投与であるが、再発低リスク症例においては3か月間投与も考慮

:»



_